



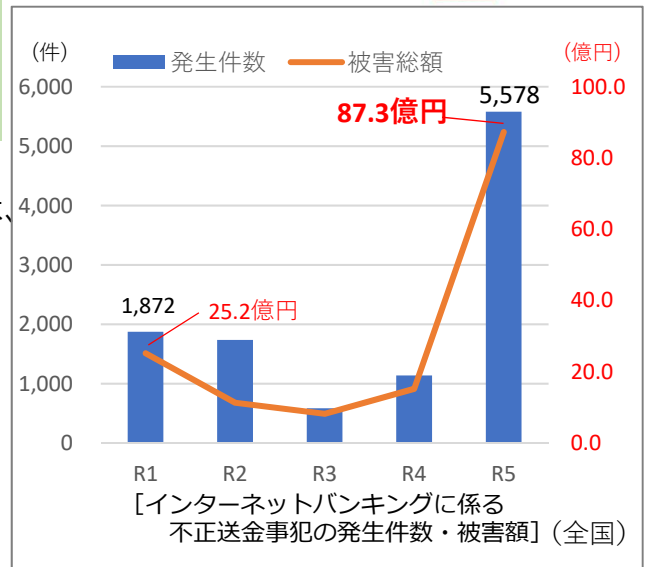
静岡県警察からのお知らせ

令和5年中のサイバー空間の脅威情勢

1 ネットバンクの不正送金被害が過去最多！



- ・ 不正送金被害とは、インターネットバンキング利用者のIDやパスワードが盗まれ、預金が別口座に勝手に送金される被害です。
- ・ 金融機関(銀行)を装ったフィッシングサイト(偽サイト)へ誘導されIDやパスワードの入力を求められる電子メールやSMSが多数確認されています。



〔情勢〕

- ・ インターネットバンキングに係る不正送金被害は、全国で発生件数5,578件、被害総額約87.3億円
- ・ 年間の発生件数・被害額ともに過去最多

〔対策(個人向け)〕

- ・ メールやSMSのリンクは安易にクリックしない
- ・ 公式アプリ、公式サイトを利用する

〔対策(企業向け)〕

- ・ なりすましメール対策技術 (SPF・DKIM・DMARC) を導入する
- ・ 利用状況アンケートを導入する 等

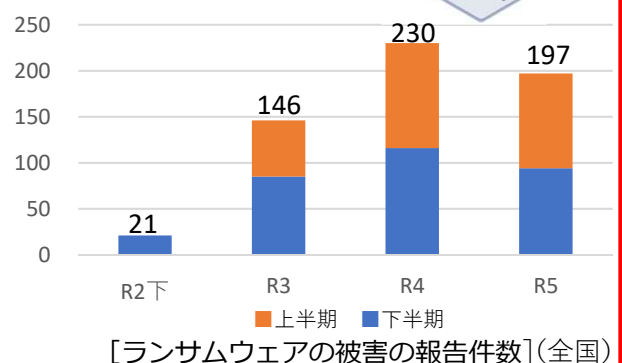
静岡県内においても、発生件数114件、被害総額約2.1億円と被害件数昨年の約4倍・被害額昨年の約8倍で、ともに過去最多！

2 ランサムウェアの感染被害が高水準で推移！



〔情勢〕

- ・ 全国のランサムウェア被害は197件で、高水準で推移
 - ・ ランサムウェアによる被害のほか、データを暗号化することなくデータを窃取し対価を要求する手口(「ノーウェアランサム」)による被害が、新たに30件確認
- ※ ノーウェアランサムはランサムウェア被害件数に含まず



〔対策〕

- ・ 機器等にパッチ等を適用する(ぜい弱性対策)
- ・ バックアップデータをオフラインで保管する

警察庁公表の詳細版はこちら



https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/R5/R05_cyber_jousei.pdf